

尾倉第四地区 小地域福祉活動計画

2023



2027

みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり



ごあいさつ



尾倉第四地区社会福祉協議会
会長 岡村 甚一

私たちの住む尾倉第四地区は、八幡東区中部の皿倉山の麓付近に位置しており、お寺や神社が多くある、歴史を大切にしている地域です。また、交通の便が良く、災害の少ない穏やかな地域でもあります。福祉活動においては、昭和45年度から「ふれあいネットワーク活動」に取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的のもと、「見守り・話し合い・助け合い」の活動を、自治会やまちづくり協議会をはじめ、民生委員児童委員、老人クラブ等、社会福祉関係者と協力して続けてきました。

このたび、北九州市社会福祉協議会において、私たちの活動をはじめ、各校地区での福祉活動の現状を踏まえた「北九州市地域福祉活動第六次計画（令和3年度～令和7年度）」が策定されました。

この計画では、地域住民が地域の様々な福祉課題を見つけ、その課題を解決していくために、地域福祉関係者、関係機関、団体と役割分担を行いながら、取組体系を示す「小地域福祉活動計画」を各校地区で策定することが求められています。

これを受けて、私たち尾倉第四地区におきましては、高齢化の進行による見守りの重要性の高まりや、地域活動の後継者不足などの課題に対応するため、小地域福祉活動計画を策定し、取り組むことになりました。

この計画は、令和9年度までの5か年計画で、地域の皆さんが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して推進したいと考えています。

この計画の実施に当たり、地域の皆さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《目 次》

1. ごあいさつ・目次・・・・・・・・・・1 p
2. 第1章 計画策定にあたって・・・・・・・・2 p
 - 1 計画の性格について
 - 2 計画の期間
 - 3 計画の策定経過
3. 第2章 尾倉第四地区の現状と課題・・・・3 p
 - 1 地域社会の動向【尾倉第四地区のデータ】
 - 2 地域の特徴
 - 3 地域の福祉課題
4. 第3章 計画体系・・・・・・・・4 p～9 p
 - 1 基本理念
 - 2 基本目標
 - 3 実施項目（体系図）
 - 4 重点実施項目
5. 第4章 計画の推進・・・・・・・・10 p
 - 1 関係団体への承認と周知
 - 2 小地域福祉活動計画推進委員会の設置
 - 3 第一次計画の評価と第二次計画の策定

第1章 計画の策定にあたって

1 計画の性格について

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、尾倉第四地区の様々な福祉課題を解決するために、住民の立場で関係機関・団体等が将来の福祉未来像を描き、計画的に活動するための行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、尾倉第四地区に住む人たちの「安全・安心な生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡東区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡東区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 尾倉第四地区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

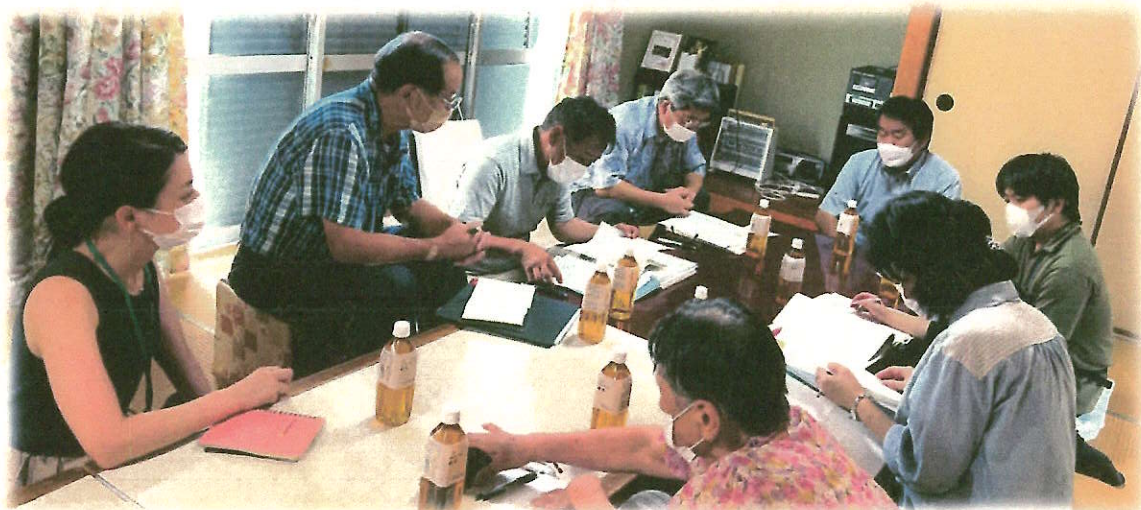
2 計画の期間

令和5年度～令和9年度までの5カ年とします。

計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

尾倉第四地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等の意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、尾倉第四地区の小地域福祉活動計画策定・推進委員会を設置しました。



第2章 尾倉第四地区の現状と課題

1 地域社会の動向

【尾倉第四地区のデータ】

2022年3月31日現在

人 口	1,532人	施 設	名 称
世帯数	885世帯	小学校	皿倉小学校
高齢化率	31.4%	中学校	尾倉中学校
福祉協力員数	12人	市民センター	尾倉市民センター
		地域包括支援センター	八幡東2
尾倉第四地区社協の構成地域	・春の町一丁目、春の町二丁目、春の町三丁目		
その他の社会資源等	八幡母子寮「わかかさ八幡」、皿倉放課後児童クラブ NPO法人帆柱自然公園愛護会 NPO法人通院介護センター「さわやか」 末松珠算学院、華頂幼稚園、春の町保育園 尾倉幼稚園、小百合保育園、製鉄記念八幡看護専門学校 春の町交番、八幡尾倉郵便局、八幡春の町郵便局、 八幡総合病院、製鉄記念八幡病院、友清歯科医院、 中野内科クリニック、わたなベクリニック、原田内科 常閑寺、観音寺、禅宗常閑寺、善光寺、花典尾倉斎場 春の町1丁目公園		

2 地域の特性

私たちの住む尾倉第四地区は、八幡東区中部の皿倉山の麓付近に位置しており、お寺や神社が多くある、歴史を大切にしている地域です。また、交通の便が良く、災害の少ない穏やかな地域でもあります。

3 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

尾倉第四地区社会福祉協議会では、昭和45年度よりふれあいネットワーク活動を展開し、見守り活動や助け合い活動を行ってきましたが、高齢化率が30%を超え、若年層をはじめ、自治区会の加入率が低下しています。

また、高齢化の進行による見守りの重要性の高まりや、地域活動の後継者不足などが課題となっています。

第3章 計画体系

1 基本理念「みんなでつくろう！安心・安全な私たちのまち」

尾倉第四地区では、子どもから高齢者まで、安心して暮らせるまちづくりを目指していきたく願っています。

そこで、「みんなでつくろう！安心・安全な私たちのまち」を基本理念として、計画を推進してまいります。

2 基本目標

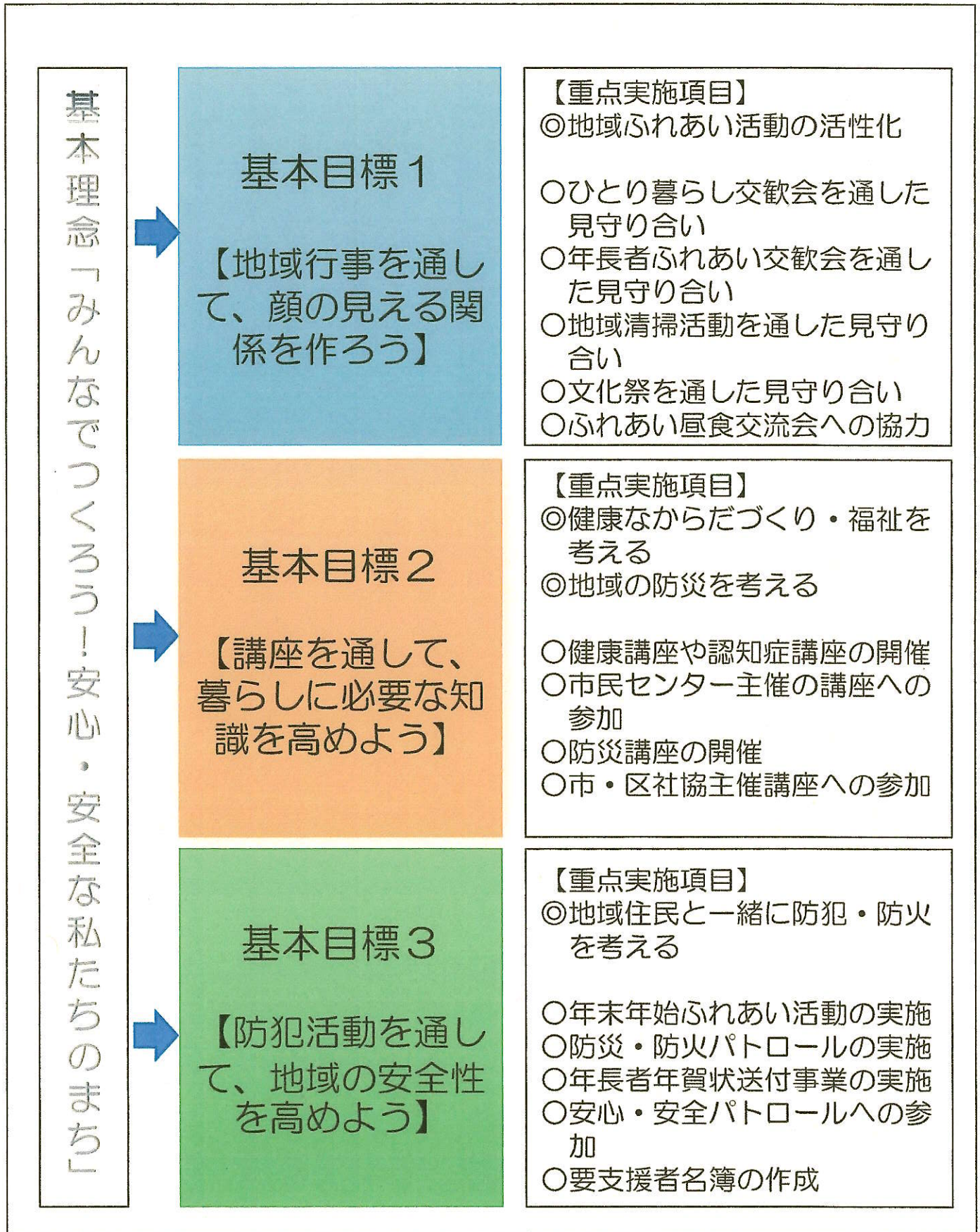
【目標1】地域行事を通して、顔の見える関係を作ろう

【目標2】講座を通して、暮らしに必要な知識を高めよう

【目標3】防犯活動を通して、地域の安全性を高めよう



3 実施項目（体系図）



4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目 1

【地域ふれあい活動の活性化】



1 課題背景及び現状

- ・地域の困っている人の把握が難しい
- ・高齢者の一人暮らしや、高齢者のみの世帯が多くなってきている。
- ・コロナウイルスにより、活動の引継ぎが上手くできていない。

2 活動の方針・目標

- ・民生委員と連携し、地域住民の実態を調査する。
- ・引きこもりがちの人が出てくるきっかけにしたい。
- ・地域の幼稚園や若い世代の方に参加・活動してもらい、地域住民と交流する場にしたい

3 段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携機関	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	備考
アンケート調査	町内会 自治区会	→					
年長者ふれあい交歓会 ひとり暮らし交歓会 の実施	町内会 自治区会 民児協	→					地域内の幼稚園に 参加を声かけ
自治区会の情報更新	町内会 自治区会 民児協	→					地域内の幼稚園に 参加を声かけ
活動の周知・広報活動	町内会 自治区会 民児協	→					
ふれあい昼食交流会 への協力	町内会 自治区会 民児協	→					
地域清掃	町内会 自治区会 民児協	→					

4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目2

【健康な身体作りと福祉を考える】



1 課題背景及び現状

- ・高齢化率が上がり、健康に心配のある方が増加している。
- ・町内会加入者の減少により人を集めることが難しい。
- ・地域の方が何を聞き、学びたいかがわからない。

2 活動の方針・目標

- ・健康に関する様々な知識をつける。
- ・地域の方が学びたいことを把握する。
- ・できるだけ多くの人に聞いてもらえるようにする。
- ・住民同士のコミュニケーションの場を設け、顔見知りを作ってもらい活動の場を広げてもらう。

3 段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携機関	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	備考
アンケート調査	町内会 自治区会	→					
健康講座の開催	町内会 自治区会 区社協 市民 センター	→					認知症に関する 講座の開催
広報活動 活動の周知	町内会 自治区会 民児協 老人会	→					
福祉・健康を学ぶ	自治区会 市区社協 市民 センター	→					

4 実施計画（重点実施項目）



重点実施項目3

【地域の防災を考える】

1 課題背景及び現状

- 高齢化率が上がり、緊急時に避難が難しい方が増加している。
- 町内会加入者の減少により、人を集めることが難しい。
- 地域の方がどのような講演を聞きたいかわからない。
- 尾倉第四地区で災害が起きるイメージがわからない。

2 活動の方針・目標

- 緊急時に助け合える環境を作る。
- 地域の方が知りたい情報を把握する。
- 尾倉第四地区で起きる災害に焦点を当てる。
- 住民の防災意識を高める。
- 防災に関する専門知識の習得。
- 要支援者を把握する。

3 段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携機関	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	備考
防災講座の開催	町内会 自治区会 区社協 二一ズ 対応員 市民 センター 唐人会	→					
活動の周知 広報活動	町内会 自治区会 老人会 区社協	→					
消防訓練の実施	町内会 自治区会 老人会 消防署	→					
ハザードマップを基にした地域実態調査	町内会 自治区会 民児協	→					定期的に調査を実施

4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目4

【地域住民と一緒に防犯・防火を考える】



1 課題背景及び現状

- 一年を通して、地域住民の交流の場が少なくなっている。
- コロナウイルスの影響により、パトロール参加者が減少している。
- 地域住民の防犯・防火意識の低下。

2 活動の方針・目標

- パトロールを通じて、地域住民への防犯・防火の意識啓発を行う。
- パトロールを通じて、住民とのふれあいを持つ。
- 見守り対象世帯に重点を置いた、高齢者・要支援者の見守りを行う。
- 年賀状送付を通して、住民の方・ひきこもりの方との交流を持つ。

3 段階的な取り組みの年次計画

取り組み内容	連携機関	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	備考
防犯・防火パトロールの実施	町内会 自治区会 ニーズ対応員 区役所 消防署 警察署	→					
年長者へ年賀状の送付	町内会 自治区会 福祉協力員 ニーズ対応員	→					
まち協主催の パトロールへの参加	まち協 町内会 自治区会	→					

第4章 計画の推進

- 1 関係団体への承認と周知
地区社会福祉協議会関係団体への計画の承認と周知を行い、協力依頼をする。
- 2 小地域福祉活動計画推進委員会の設置
計画推進のため、尾倉第四地区福祉活動計画の策定・推進委員会を設置し、計画の進行管理を行う。
- 3 第一次計画の評価と第二次計画の策定
第一次計画の総括評価をし、その結果を踏まえ、第二次計画の策定をする。

第一次尾倉第四地区社協小地域福祉活動計画策定・推進委員会名簿

氏 名	所 属 団 体	役 職
岡 村 甚 一	尾倉第四地区社会福祉協議会	会 長
倉 地 忍	尾倉第四地区社会福祉協議会	副 会 長
郷 田 滋	尾倉第四地区社会福祉協議会	副 会 長
岸 原 庸 夫	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
菊 田 信 治	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
谷 口 三 朗	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
原 田 誠	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
松 村 令 子	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
東 崎 キ ミ 子	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
長 田 美 和 子	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
長 谷 川 好 子	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
村 中 紗 由 美	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
相 馬 絵 梨 香	尾倉第四地区社会福祉協議会	町 内 会 長
菊 田 陽 子	尾倉第四地区社会福祉協議会	事 務 局 ・ 会 計
山 縣 精 子	尾倉第四地区社会福祉協議会	相 談 役



尾倉第四地区社会福祉協議会

〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉一丁目15番2号 尾倉市民センター内
TEL 093-661-0516 FAX 093-661-0528

八幡東区社会福祉協議会

〒805-8510 北九州市八幡東区中央一丁目1番1号 八幡東区役所内
TEL 093-681-6601 FAX 093-681-6013

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

